

費用内訳書

課 長	係 長	照 査	設 計

令和 8年度

設計年月 令和 8年 7月

上期 令和 9年 3月12日

作 業 名 緊急遮断弁点検整備（新山科浄水場）

作 業 場 所 京都市山科区勧修寺丸山町1番地

新山科浄水場

作 業 費 金 円

作 業 価 格 円

消費税及び

地方消費税相当額 円

内 訳 書 （ 総 括 ）

(1 / 1)

作 業 名	緊急遮断弁点検整備（新山科浄水場）							
費 目	工 種	種 別	単位	数 量	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
作業費								
	機械設備工							
		直接費	式	1				
		間接費	式	1				
		諸経費	式	1				
作業価格								
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1				
作業費計								

内 訳 書

(1 / 3)

作業名	緊急遮断弁点検整備（新山科浄水場）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
作業費									
直接費									
	取替材料費		式	1					第Ⅷ－1号表参照
	小 計								(直接材料費)
	補助材料費		式	1					
	小 計								(補助材料費)
	計								[材料費]
	点検労務費		式	1					
	計								[労務費]

内 訳 書

(2 / 3)

作業名	緊急遮断弁点検整備（新山科浄水場）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
	直接費計								直接費
間接費									
	産業廃棄物運搬処分費		式	1					
	間接費計								間接費
計（請負原価）									
諸経費									
	諸経費		式	1					
	諸経費計								諸経費
作業価格									

内 訳 書

(3 / 3)

作業名	緊急遮断弁点検整備（新山科浄水場）								
費目・種別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	単 価	金 額	数量増減	金 額 増 減	摘 要
消費税及び 地方消費税 相当額			式	1					
作業費計									

緊急遮断弁点検整備
(新山科浄水場)

特 記 仕 様 書

京 都 市 上 下 水 道 局

建設リサイクル法	
☐ 適用	☒ 適用外

1 共通事項

本特記仕様書に記載のない事項については、令和7年12月版の「水道部施設課 作業一般仕様書（委託）」による。

なお、「水道部施設課 作業一般仕様書（委託）」は水道部施設課で配布する。

2 作業概要

本作業は、高区配水池流入管緊急遮断弁、高区配水池流出管緊急遮断弁、低区配水池流出管緊急遮断弁及び低区配水池接合井連絡管緊急遮断弁が、常に動作可能な状態を維持するために点検整備を行うものである。

3 作業場所

京都市山科区勧修寺丸山町1番地 新山科浄水場

4 完成期限

令和9年3月12日とする。

5 対象設備及び機器

(1) 高区配水池流入管緊急遮断弁

用 途	高区配水池流入管（φ900）の緊急遮断
品 名	トリガーバルブ
製 造 者	前澤工業株式会社
使 用 流 体	上水
減 速 機 型 式	MBC-P30-T
工番（製造番号）	07AZ0240-01
開 閉 方 向	左回し開き（開度計：度表示 0～90度、%表示 0～100%）
操 作 回 転 数	全閉－全開 55回転
ロ ッ ク 方 式	自動ロック
ロ ッ ク 解 除	ソレノイド式
電 圧	DC24V、定格3分
動 作 電 源	マンガン乾電池（単2形40個）
感 知 方 式	震度感知
遮 断 設 定 値	150Gal
製 造 年 月	平成20（2008）年3月
台 数	1台

感 震 装 置	感知器 VBC7000 山武ハネウエル製 1台
---------	-------------------------

(2) 高区配水池流出管緊急遮断弁

用 途	高区配水池流出管（φ1200）の緊急遮断
品 名	トリガーバルブ
製 造 者	前澤工業株式会社
使 用 流 体	上水
減 速 機 型 式	MBC-P30-T
工番（製造番号）	96AZ0240
開 閉 方 向	左回し開き（開度計：度表示のみ 0～90度）
操 作 回 転 数	全閉－全開 225回転
ロ ッ ク 方 式	自動ロック
ロ ッ ク 解 除	ソレノイド式
電 圧	DC24V、定格3分
動 作 電 源	マンガン乾電池（単2形40個）
感 知 方 式	震度感知
遮 断 設 定 値	150Gal
製 造 年 月	平成8（1996）年10月
台 数	1台
感 震 装 置	感知器 VBC7000 山武ハネウエル製 1台

(3) 低区配水池流出管緊急遮断弁

用 途	低区配水池流出管（φ1350）の緊急遮断
品 名	立形二床式トリガーバルブ
製 造 者	前澤工業株式会社
使 用 流 体	上水
減 速 機 型 式	MBC-P30-T
工番（製造番号）	09AZ0306-01
開 閉 方 向	左回し開き（開度計：度表示 0～90度、%表示 0～100%）
操 作 回 転 数	全閉－全開 352回転
ロ ッ ク 方 式	自動ロック
ロ ッ ク 解 除	ソレノイド式
電 圧	DC24V、定格3分
動 作 電 源	直流電源装置
感 知 方 式	震度感知

遮断設定値	150Gal
製造年月	平成21（2009）年5月
台数	1台
感震装置	IMV株式会社製 1台

(4) 低区配水池接合井連絡管緊急遮断弁

用途	低区配水池接合井連絡管（φ600）の緊急遮断
機種	電動バタフライ弁
製造者	株式会社栗本鐵工所
使用流体	上水
工番（製造番号）	21-09-08019-010-1
開閉方向	左回し開き
電動機	直流電動機0.75kW×DC100V
動作電流	直流電源装置
感知方式	震度感知
遮断設定値	150Gal
製造年月	平成22（2010）年5月
台数	1台
感震装置	低区配水池流出管緊急遮断弁と共用

6 作業範囲

対象機器の消耗材料の交換、点検整備等からそれらに必要な試運転及び調整までの一切とする。

7 作業内容

(1) 部品の点検（対象は機器仕様に示す全遮断弁）

ア 部品の腐食状況の点検

イ 外観の点検

塗装、ボルト、可動部、油量、油漏れ（発生している場合、補修すること。）、端子箱、シールコネクタ、部品の破損など。

ウ 機能の点検

感震装置、電磁ソレノイド、油圧シリンダ、開閉リミットスイッチ、ロック装置など。

(2) 地震感知器の点検（対象は機器仕様に示す全遮断弁）

ア 動作の点検

イ Gal値の点検

(3) 材料等の取替え

別紙１（取替材料等一覧）に示す材料等の取替えを行うこと。

(4) 緊急遮断弁手動ハンドルの動作点検

(5) 緊急遮断試験

ア 高区配水池流入管緊急遮断弁、高区配水池流出管緊急遮断弁及び低区配水池流出管緊急遮断弁は、配水流量に支障が出ないようにウエイトの停止位置を途中開度（約 70 度）に設定し、地震感知器を手動で操作のうえ、緊急遮断弁の作動確認を行うこと。また、低区配水池流出管緊急遮断弁は、低区配水池接合井連絡管緊急遮断弁との連動作動確認を行うこと。

イ 緊急遮断試験後は、緊急遮断弁及び緊急遮断電動弁を緊急遮断待機状態に復帰させること。

(6) 現地遮断弁操作盤について、外観、主回路、電源装置、制御回路、制御部品等の点検を行うこと。

(7) 必要に応じて、対象機器の外観部の汚れ、ほこり等の除去及び剥離した部分の補修塗装並びにさび発生部分のケレン等を行うこと。

8 その他事項

(1) 契約決定後、直ちに作業順序、方法、日程等について監督員と十分な打合せを行うこと。

(2) 各項目の作業を行った後は、その結果を監督員に報告すること。その報告を受けた監督員が設備として動作に不具合が起これと判断した場合、受注者は、当該部品の交換、修理及び調整を行うこと。

(3) 作業開始時及び終了時には、監督員に連絡を行うこと。

(4) 点検整備中に異常が発見された時には、監督員と十分協議のうえ、その指示に従うこと。

(5) 作業に必要な工具、計測機器等は、受注者が用意すること。

(6) 局所有の設備等を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を得ること。

(7) 作業終了後、後片付け及び清掃を十分に行うこと。

(8) 本仕様書に明記されていなくても、本作業の遂行にあたり当然必要な事項については行うこと。

(9) 完成図書に添付する作業報告書の項目、様式等については、本仕様書巻末の別紙２（報告書記載事項参考例）を参考にして作成すること。

別紙 1（取替材料等一覧）

- 1 高区配水池流入管緊急遮断弁（φ 9 0 0）
- 2 高区配水池流出管緊急遮断弁（φ 1 2 0 0）

名 称	材質・形状寸法等	数量	単位	備考（対象機器）
乾電池	単 2 形マンガン（4 0 個/台）	2	台分	1 及び 2
乾燥剤	シリカゲル Nシロ 1 0 0 G	2	台分	1 及び 2
防錆剤	ゼラスト気化性防錆 VC 1－1	2	台分	1 及び 2
パッキン類	ニトリルゴム	2	台分	1 及び 2
地震計	1 5 0 galタイプ	1	台分	1
サーキットプロテクタ		2	台分	1 及び 2
コンダクタ		2	台分	1 及び 2
押し釦スイッチ		2	台分	1 及び 2
配線材料等		2	台分	1 及び 2

別紙2（報告書記載事項参考例）

1 感震装置付トリガーバルブ（緊急遮断弁）点検報告書

(1) 点検対象機器名称及び口径

(2) 点検実施日

(3) 点検責任者氏名

(4) 点検内容

ア 外観

(ア) 塗装の状況

(イ) ボルト締付状態の良否

(ウ) 可動部のさび、固着物の有無

(エ) 制動装置油漏れの有無

(オ) 制動装置油量の良否

(カ) ターミナルボックスの状態の良否

(キ) 部品の破損の有無

イ 機能

(ア) 遮断時

a 電磁ソレノイドの作動状況の良否

b 電磁ソレノイドの作動電圧値

c ロック装置の作動状況の良否

d 遮断状況の良否

(イ) 復帰時

a 電磁ソレノイドの作動の良否

b ロック装置の作動の良否

c 復帰状況の良否

d リミットスイッチ

e 開リミットスイッチ作動の良否

f 閉リミットスイッチ作動の良否

ウ 感震装置

(ア) 地震検知器の作動の良否

(イ) バッテリーチェックランプ点灯の良否

(ウ) 遮断テストボタンによる作動の良否

(エ) その他各部の状況の良否

エ 消耗品の交換

(ア) 電池交換（単2）

- (イ) 乾燥剤交換
- (ウ) 防錆剤の塗布
- (エ) パッキン類交換
- (オ) その他

オ 遠方表示（機能を有している場合）

- (ア) 場内盤の動作表示の良否
- (イ) バッテリー総直流電圧値（機能を有している場合）

カ 特記事項

2 低区配水池接合井連絡管緊急遮断弁点検報告書

- (1) 点検対象機器名称及び口径
- (2) 点検実施日
- (3) 点検責任者氏名
- (4) 点検内容

ア 外観

- (ア) 塗装の状況
- (イ) ボルトの締付状態の良否
- (ウ) 可動部のさび、固着物の有無
- (エ) ターミナルボックスの状態の良否
- (オ) 部品の破損有無

イ 機能

- (ア) 遮断時
 - a 待機方向作動の良否
 - b 遮断状況の良否
- (イ) 復帰時
 - a 復帰方向作動の良否
 - b 復帰状況の良否

ウ リミットスイッチ

- (ア) 開リミットスイッチ作動の良否
- (イ) 閉リミットスイッチ作動の良否

エ 過トルク停止確認

- (ア) 復帰側の良否
- (イ) 待機側の良否

オ モーター電流値

- (ア) 復帰方向

(イ) 待機方向

カ モーター絶縁測定値

3 現地遮断弁操作盤点検報告書

(1) 点検対象機器名称及び口径

(2) 点検実施日

(3) 点検責任者氏名

(4) 点検内容

ア 外観

(ア) 塗装の状態の良否

(イ) 据付け状態の良否

(ウ) 内部の状態の良否

(エ) 扉の開閉動作の良否

イ 主回路

(ア) 電源電圧値

(イ) ブレーカの切替動作の良否

(ウ) 漏電ブレーカ動作の良否

ウ 電源装置

(ア) 入力電源電圧値

(イ) 出力電源の電圧値 OUT 1 OUT 2

(ウ) 停電時の電圧値 OUT 1 OUT 2

エ 制御回路

(ア) 手動操作の良否

(イ) 自動操作（模擬信号による）の動作状況の良否

(ウ) インターフェイスの良否

(エ) 各指示計動作の良否

(オ) ランプテストによる球切れ確認

オ 制御部品

(ア) 盤内部照明点灯状況の良否

(イ) 室内ヒーター作動状況の良否

カ その他

(ア) 室内コンセント状態の良否

(イ) 端子ネジの緩みの有無

(ウ) 各部品の状態の良否

キ 特記事項